

2018年度(平成30年度) 事業報告書

2019年2月

滋賀県大津市大萱六丁目1

総合型地域スポーツクラブ

特定非営利活動法人瀬田漕艇倶楽部

代表理事 黒田 士朗



2018年1月14日 全国マシンローイング大会近畿ブロック大会

[1] 2018年度活動報告

1 特定非営利活動

2018年度定期総会にて以下の目標を掲げ、年間活動に取り組んだ。

1. 全体 倶楽部理念や建設の趣旨に沿った Furukawa House の活用を検討・実践し、世代を超えた会員間の交流や他団体との交流を活性化する。
三大事業に集中して運営を進める。より良い倶楽部運営体制の検討。
認定 NPO 法人への寄附金優遇税制を活かした、賛助会員の拡大策の検討・実施。
2. 安全 (1) 安全規則の随時見直し(初版 2005 年)。
(2) 安全講習会実施、沈回復の練習会の実施。
(3) インシデント・アクシデントレポート作成の推進。
3. 保全 整理整頓という基本的な事を行う為、徹底的に管理する。
4. 施設 老朽化した所の対応、使い勝手を見直した修繕計画と備品購入計画。芝生の整備。
5. 事務 各担当者との連携による円滑な事務作業。事務局のあり方検討とより良い倶楽部運営への貢献策
6. 特別 びわこ市民レガッタの参加者 100 クルー(500 人)以上。地元企業、自治体、自治会から募る。
Head Of The SETA の参加者 800 人以上。各ボート団体への個別交渉。
近畿マシローイング A 大会を運営し、参加者 1,000 人以上。
三大事業合計 150 万円以上の収支を得る。
プロ(有給)コーチによる、小学生ボート教室や会員向けコーチングを継続・拡大する。
7. 普及 ボート・ドラゴンボート・カヌーの体験教室をクラブ全体で運営し、年 250 人を目標とする。新たな普及活動を検討・実行していく
8. 収益 ウェブを活用して、年間 50 万の収益確保に取り組む。
新たな収益財源確保に向けて具体案を検討する
9. 財務 会計処理フローの構築。賛助会員拡大に向けての PR。
10. 広報 月一回の確実な会報発行。漕艇通信 500 号記念誌の準備。
11. 活動 倶楽部運営収支 100 万円、NPO 事業収支 200 万円、収益事業収支 50 万円の計 350 万円の現金収支を確保するための、工夫・新たな取り組みを計画、実行
選手チームは、全日本選手権でのメダル獲得を目標とする。選手層のメンバー獲得を推進する。
杉藤コーチの指導のもと、競技力強化、魅力ある選手チーム作りを進める。

【総括】

2018年度は倶楽部創立50周年に向けての出発の年であった。1月に過去最大の900名を越す参加者を集めた全国マシローイング大会近畿大会にスタートし、びわこ市民レガッタ、Head of The Seta の三大事業を中心に取り組んだ。各事業の詳細は後に各事業担当より報告あり。3年目を迎えたホストタウン交流事業やジュニアボート教室、「しがスポーツ大使」として冬季のマシローイング教室も継続的に実施。

杉藤コーチの指導も3年目になり高校生も週2回、平日の練習できるようになっている。

三大事業であるマシローイング大会、びわこ市民レガッタ、Head Of The Seta、による収益は、昨年度より10万円増の159万円(助成金等を含む)となり、目標の150万円を超え、目標以上の利益を確保した。いずれの事業も多くの人達に参加いただける魅力ある大会であること、効率的な運営ができていること、すなわち実行委員を中心に多くの倶楽部員の努力が、この結果につながっていると考える。しかしながらここも一部のクラブ員への負担増加は避けられず、今後も多くの会員の皆さまの支援・応援を願いたい。

選手活動に関しては、朝日レガッタ女子2×(椎名翔、井上愛)で優勝を飾り、全日本軽量級選手権の男子2- (椎名孝、山口)、男子1×(東田)で決勝レースに進出。両クルーともに4位入賞を果たす。全日本選手権では順位を付けることはできなかった。

国体には8名が各自の地元で出場。高校生の嶋選手と田中選手がダブルスカルで、滋賀県代表として国体に

出場。見事昨年出場出来なかったリベンジを果たす。女子1×で椎名翔選手が見事3位表彰台を獲得する。マスターズにおいてもワールドマスターズにて安達選手のみでなく、安達・長瀬選手の混成2×において見事ワールドチャンピオンとなる。杉藤コーチによる指導体制をさらに強化し、倶楽部設立当初から掲げている「日曜スカラーからチャンピオンまで」を、実現するための取り組みを着実に前に進めることが、当面の課題である。その為には、コーチや選手の努力だけでなく、多くの会員の積極的な支援・応援が必要である。多くの会員が支援・応援したくなるようなチームであること、そう思えるような選手達の熱意や行動が必要であると考え。

2018年度のNPO事業での固定資産取得を含む現金ベースの経常収支は24.1万円の決算に対して367万円の黒字となる。これはアネックス外壁や屋根塗装の未実施もあるが、会員全員での収益事業の増加に加えて小さな節約の積み重ねに拠るところが大きい。

昨年度の艇損傷賠償金は寄付金121万円を頂いた。

2018年度末の会員数は、正会員165名・賛助会員65名の計230名で、昨年度末から正会員は16名増加した。今年度も新入会員が27名と多かったが、入会後あまり活動することなく退会したり、未経験者の新入会員も増加しており新入会員に対するケアが必要、喫緊の課題であると認識している。倶楽部の活動を積極的にPRし認知度を高める、認定NPO法人への寄附金優遇税制の周知をするなど、私たちが支援いただける賛助会員すなわち瀬田ローファンを増やす取り組みが必要である。

(1)ボート等競技大会開催或いは開催支援活動

① ボート競技大会開催

全国マシンローイング大会近畿大会(2018年1月14日)

今大会も、ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)で開催。本大会は、過去最高の920名の事前エントリーがあった。今大会は、ニュージーランドからロンドン五輪・リオ五輪男子舵手なしペアの金メダリストの5位入賞のEric Murray選手を招待したほか、滋賀県・大津市の『ホストタウン滋賀交流推進実行委員会』の交流事業の一環で、デンマークから7選手(Mark Hartsteen選手・Jannik Nilton選手・Mads Fischer選手・Esben Sovndahl選手・Stine Mathiasen選手・Kate Petersen選手・Anne Katrine Kiilgaard選手)とコーチ2名(Nils Menkeコーチ・Martin Schjerningコーチ)を招待、国内からはリオ五輪日本代表の中野紘志選手、大石綾美選手が参加し、大雪の天候の中、国内からは北は仙台、南は熊本や宮崎などから選手が参加した。また、演出部門では、MCを仙石幸一さんに、照明をEGSさんに依頼をし、今までよりもさらに力を入れた。他にも、飲食ブースの出展や日本ボート協会のトライアウト事業の併催も行った。さらには、関西学生ボート連盟との協働で、大学交流ブースも昨年に引き続き設置した。これからも、日本で最も活気のあるMR大会として、他の大会をリードする大会でありたい。

また、大会当日には、日本ボート協会の久保会長が視察に来られ、大会を見学された後、大会会場にて実行委員とお話しをさせて頂くことができた。

さらに、マシンローイング大会だけでなく、海外招待選手との交流も大会後に行った。1月15日(月)に、倶楽部員で、協賛企業である桑野造船さんをデンマーク選手と訪問後、比叡山に観光に行った。その後、クラブハウスにて、地元高校生との交流事業を行い、膳所高・大津高・瀬田工より約40名の高校生が参加してくれた。また、高校生との交流事業終了後、Furukawa Houseにて、ニュージーランドからの招待選手も合流し、倶楽部員との交流の鍋パーティーを実施した。そして、1/20(土)には、瀬田中・瀬田北中・レイクスジュニアボート教室との交流事業を行い、約140名の小中学生がデンマーク選手と交流をした。

海外招待選手に関わる事業も含む、全体での収入は264.5万円(昨年297.2万円)、支出は207.0万円(昨年244.9万円)で、収支は57.5万円(昨年52.2万円)であった。昨年との差は、ホストタウン交流事業の委託費の変更によるものである。収支としては昨年よりも増加をしているが、さらにエントリーの増加やスポンサー獲得で収入を増加させ、収益性もあがる大会運営を継続していく。

※収支の額は助成金や付随事業の収支を含む

本年は大学選手権と日程が重なった影響かOB・OGクルーの参加が前年より減少したが、市民クルーの参加は前年とほぼ同数であり、その結果90クルーのエントリー(棄権6)であった。

市民の部では毎年参加いただいているクルーの技量の向上が目覚ましく、数多くの白熱したレースを見ることができた。その反面、参加クルーの高齢化も目に付き始めており、初参加のクルーが減少していることと合わせて対応策の検討が必要である。

本年も昨年に引き続き駐車場として新浜ヤードを借用したが、通行者とのトラブルが発生しており、専任のガードマンを外注するなどの対応を検討していきたい。

収入は95.8万円(昨年111.9万円)、支出は58.2万円(昨年70.5万円)で、収支は37.6万円(昨年41.4万円)であった。本年はドリンクの協賛があつて昨年より支出を抑えることができたが、エントリー減による収入の減少が収益減に結びついており、エントリー増加策を検討していきたい。

本年も72名の倶楽部員に当日のスタッフに従事していただきました。また無料練習会や前日練習会にも多数の対応をいただきました。来年度も引き続きご協力をお願いしたい。

第27回 HEAD OF THE SETA(2018年11月23日、24日)

瀬田川のNo.1(チャンピオン=ヘッド)を決める瀬田川往復の長距離レース(R1スタート～平津折返し～R1手前ゴール、約7km)を2日間に渡り開催した。延231クルー、614人(棄権除)のエントリーを受け付けた。初日はシングルスカル、舵手付きフォア、カヤックシングル、カナディアンシングルなどのレースを中心に行った。初日のレース後にはFurukawa Houseにて懇親会を開き参加者の親睦を深めた。2日目はクルー種目やドラゴンボートのレースを開催した。

今年度、コースについては瀬田川河川工事の影響のため、ゴール地点を例年のR1ではなく、100m程手前の唐橋公園前広場に変更した。また、河川事務所の河川法適用及び厳格化により、河川占有許可が下りるまでに時間を要した。よって、河川占用料が発生することにもなった。

次年度に向けては、今年度、レース中の接触が数件あり、安全上の観点での検討及びスタッフの役割の検討や、クラブ所有艇を借艇するまでの流れに再整備が必要である。また、動力船(観光船)運行数が増加することが見込まれるため、レーススケジュールについても再検討を行う。その他、当日エントリーの再実施、ドラゴンボート借艇料の徴収を検討する。

今年度から収入の最たる部分を占める出漕料を一律1,500円とした。その結果、例年みられる会計上の大きな混乱はなかった。エントリー上、クルー数は昨年より減少しているが、クルーボート(特に8+)のエントリーが増え、収入110.0万円(前年111.8万円)、支出45.6万円(同46.5万円)、収支64.4万円(同65.3万円)と昨年とほぼ同じ成果を挙げた。しかし、シングルスカル種目のエントリーは少ないように見え、より参加したいと思われる大会にしていきたいと考える。

偏に多くの皆様のご協力で実施することができているが、各日60人程度のスタッフ参加が必要と考えているため、更なる協力を望みたい。

② ボート競技会等開催支援活動

ボート競技会等の開催支援

ボート競技では朝日レガッタ、高校春季総体、関西選手権大会、高校夏季総体、滋賀県民体育大会、滋賀県ジュニア選手権、かいつぶりレガッタ、京都レガッタ、高校秋季総体に、審判を派遣した。また、大津市民レガッタでは、多くの会員がボランティアスタッフと大会を支えた。

(2) ボート競技の指導等・普及に関わる事業活動

① セミナー・講習会の開催

2018朝日レガッタコーチセミナー兼公認スポーツ指導者義務研修会(近畿地区)(2018年5月4日)

朝日レガッタ開催に合わせてコーチセミナーを開催。今年も公認指導者の義務研修を兼ねての開催となった。今年はアンチドーピング講習で1名、チームビルディングをテーマに2名の講師を招いた。講師のお話は自分の所属チームにとどまらず、日本全体のロウイングを盛り上げたいという志を強く感じるものであった。参加者は一般34名、公認指導者32名。参加費等収入14.7万円 経費支出9.4万円であり、収支は5.2万円となった。内容は以下の通り。

『自分の身は自分で守る！アンチドーピングの基本』 講師：高谷 麻紀氏
『人を惹きつけるチーム作り』 講師：武田 知也氏（同志社大ボート部監督）
『勝利を掴むチーム作り』 講師：林 邦之氏（NTT東日本漕艇部監督）

③ 水上スポーツ教室の開催等

初心者ボート体験教室（2018年5～11月毎月第1、3日曜日）

5月から11月の間に、初心者を対象にした体験教室を開催し、ボートでは、延べ約80名の利用があった。2018年は台風や大雨などによるコンディション不良のため、例年より参加者が少なく収入も例年より少なかった。最初にエルゴメーターを使用した基本動作の練習と艇の基本的な扱いを説明した後に乗艇での指導を行い、ローイングの楽しさや湖上からの眺めを楽しんでいただいた。また、びわこ市民レガッタが近づくと、その練習として利用する参加者が多くなった。体験教室に参加後、入会される方もおられ、新規入会のひとつの入り口となっていると考える。

また、ドラゴンボートでは、練習を目的として4回、約60名の利用があった

ひきつづき、水上スポーツの魅力をしっかりと伝え、幅広い年代の会員増につなげられるよう貢献していきたい。（収入実績：2016年30万円、2017年32万円、2018年21万円）

ドラゴンボート体験（セタジミ祭2017年4月23日）

今年もセタジミ祭で、ドラゴンボート体験コーナを実施した。「神龍（20人漕ぎ）」と「子龍（10人漕ぎ）」により祭を盛り上げた。ドラゴンスタッフは、倶楽部から9名を動員、大津市のドラゴンボートチーム「小寺製作所」「池の里 レイカーズ」の皆さんからも19名を動員して頂き、合計28名のスタッフで対応した。

ジュニアボート教室

滋賀レイクスターズとのコラボレーションで昨年度より実施された地域の小中学生対象のボート教室。昨年度は、9名だった教室は、今年は11名で実施した。11名のうち3名は、小学生ジュニアボート教室を卒業した中学生であり、中学生の部として平日月曜日夕方16:30から開催している教室に参加している。小学生のシーズンについては、4-10月で実施し、冬季の12-3月は、月2回程度で開催。中学生は通年を通して実施しているが、冬季はエルゴでの指導が中心。

事務局としての仕事をレイクスターズが担い、指導面を杉藤コーチが中心に、スタッフ調整を猪飼さんが中心となり、マネジメントを行なって実施した。

現在の指導状況のキャパシティは、10名程度が上限であると感じている。今後事業を拡大するのであれば、アシスタントの人数の増加とともに、猪飼さんが行なっているようなアシスタント調整等のマネジメントを行える人材を確保していく必要がある。

ジュニアボート教室の指導内容については、杉藤コーチのバリエーションある指導内容を基に、毎回充実した指導を行えている。昨年度は、「競争」という観点も入れながら実施していたが、今年度は「クルーコミュニケーション能力の向上」という観点を取り入れて事業を実施した。

(3) 水上スポーツ活動の支援

安全管理に関する活動

- ① 安全講習会の開催（開催回数：1回）
実際に琵琶湖で起きた事故を元に、安全なクラブ活動を再度呼びかけ。
琵琶湖における航路の確認。
- ② 会員のサポートによるシングルスカルの沈回復練習会を複数回実施。
- ③ 琵琶湖漕艇場からの注意喚起メールを会員に転送。
→瀬田川及び琵琶湖での工事や藻刈り作業、及び洗堰の全開放流時の連絡。
- ④ 洗堰全開放流時のルールを理事会にて改正（詳細後述）。

安全講習会

県ボート協会主催の安全講習会に5名参加。(12月16日)

アクシデント・レポートの作成(随時)

乗艇中に事故を起こした会員は、アクシデント・レポートの提出。
今後、安全講習会や機関誌を通じて周知したい。

沈回復練習会

沈からの再乗艇経験がなく、シングルの乗艇を希望する会員を対象。
沈回復練習会は安全担当理事が立ち会わず、安全に配慮しながら、シニア層で実施していただけた。

安全規則

全開放流時のルールを改正。

改正前: 洗堰全開放流の場合は瀬田川での練習禁止

改正後: 洗堰全開放流の場合は乗艇禁止。

ただし、モーターボートによる伴走ある場合は琵琶湖での乗艇は認める。

平日シニア組の冬期乗艇自主ルールについて

会員のM氏が舵無クオッドブルの練習中に気分が悪くなり、病院に緊急搬送、手術及び入院となったが、大動脈解離で病院で亡くなられた。当時の大津市は摂氏2.1度(10:00)の雪が舞う寒い天候であった。この様な仲間を失う悲しい思いを二度とたく無いことから平日シニア組は冬期における乗艇自主ルールを策定し、守って頂いています。

以下自主ルールの抜粋

- ① ヤフーなどの天気予報で朝の9時が5度以下 乗艇禁止
5度以上 水温10度以下 シングルスカルはコースのみ
- ② 乗艇前にストレッチ エルゴで体を温める
- ③ 携帯 ホイッスル 所持
- ④ 救助方法の確認 漕艇場 か 救急車か
- ⑤ 注意報の確認 低温注意報は乗艇禁止

(4) ボートに関する情報発信

クラブの月刊機関紙「漕艇通信」(会報)の月末発行、ホームページを活用した情報発信等を行い、クラブの活動に関する最近の情報を提供した。引き続き、「漕艇通信」はホームページ上で公開している。

(5) 選手競技活動

シニア層については全日本軽量級選手権において2種目が決勝に残った、当年度目標にしていた全日本級の大会において2種目決勝という最低限の目標は果たしたが、全日本選手権においては最終日には残れなかった。

ジュニア層についてはJOCへの出場権獲得また国民体育大会本選の出場権を得られたが、本選において両レースともに上位層とは戦えないという結果であった。

当年度の結果を見てシーズン中盤～後半において高い質でのトレーニング・明確な目標を継続するためのマネジメントが不足していた事が明白でありそこに対する改善が急務である。

また長期的なクラブ選手育成・獲得という観点において、他団体との積極的協調・協力も必要であり組織的な枠組みを作る必要がある。

(6) その他の活動

- ① プロコーチ杉藤氏によるコーチング
 年額300万円(年300セッション)を毎月按分する形で、杉藤コーチにお支払いをしている。シーズン中は週6回1時間半～2時間程度のコーチングの日を設置。マスターズメンバーへのコーチング及びびりギング講習(週1回)、選手チームのコーチング(週2回)及び年間のメニュー等作成、ジュニアボート教室でのメインコーチとして活動(週2回)以外に、高校生を対象に、毎週月曜日と木曜日の夕方にコーチングをしていただく場を作り、新しく入会した高校生が、集まれる場になるとともに、トップを目指したい高校生が指導を受けられる環境を整えている。(週2回)
 また、毎月の活動内容(指導方針・指導日数)については、杉藤コーチより月報を提出していただき、コーチングの内容について随時協議を進めながら運営を行っている。
- ② びわ湖ユニバーサルウォーキング大会
 5/13(日)に開催された第2回びわ湖ユニバーサルウォーキング大会に、「しがスポーツ大使」として招聘された。参加者と一緒に会員13名がなぎさ公園をウォーキングし、大会を支援した。また、会場での催し物として、会員9名がエルゴ体験会を行う予定だったが、あいにくの雨で中止となった。(ユニバーサルウォーキングとは、障がいのある人もない人も、老いも若きも一緒になって助け合い支えあひながらのウォーキングのこと)
- ③ 全員集合日の実施
 月例全員集合日を実施した。清掃/艇整備/施設補修などをおこなった。
- ④ 施設関連実施事項
 日常のメンテナンスを実施した。
- ⑤ 大会への役員派遣
 関西ボート連盟、滋賀県ボート協会、京都ボート協会、大阪ボート協会、大津市ボート協会等主催の大会にて、役員活動を行なった。
- ⑥ メディア出演等
 1月 3日 朝日新聞 29頁 地域面 初漕ぎ寒風突いて
 ※新春初漕ぎ会に参加した山口妙子さんのコメントを掲載
 1月 3日 中日新聞 18頁 地域面 安全と上達願ひ込め
 ※新春初漕ぎ会に参加した山崎有紀さんのコメントを掲載
 1月15日 朝日新聞 33頁 地域面 陸上「ボート」エリートに挑む
 1月15日 京都新聞 26頁 地域面 陸の“ボート”90人白熱 大津マシンローイング大会
 1月15日 産経新聞 27頁 地域面 舞台は陸上エルゴ熱く 大津で近畿大会
 1月15日 中日新聞 25頁 地域面 ボート練習器具使い白熱レース全国トップ選手ら90人がタイム競う
 1月19日 FISA(国際ボート連盟)HP Murray leaves retirement for one day at Japanese indoor rowing champs
 Murray日本のインドアローイング大会で1日限りの復活
 1月18日 高校野球ドットコム
 エルゴメーターで競うマシンローイング大会！ 世界レベルのプレーヤーが高校球児へメッセージ
 1月21日 京都新聞 23頁 地域面
 大津で合宿中デンマークのボート選手らこぎ方の基本子らに披露 陸上機器で指導参加者「感動」
 ※マークハースティン選手のコメントを紹介
 1月22日 びわ湖放送 キラりん滋賀
 ※全国マシンローイング大会近畿ブロック大会の模様 招待選手と中学生の交流事業の模様を放送
 2月 6日 日本ボート協会HP 全国のオアズパーソンへの手紙(第66信)
 ※大久保会長が全国マシンローイング大会近畿ブロック大会と瀬田漕艇倶楽部を訪問したことを紹介
 レイクスマガジンvol77 2月号 14頁 日本最大級のエルゴの祭典 世界一流の漕ぎに酔う

※全国マシンローイング大会近畿ブロック大会について紹介

3月14日 京都新聞 19頁 地域面 タイム トレーニングで人は変わる

※杉藤コーチが全国マシンローイング大会近畿ブロック大会と招待選手のエリック・マレー選手について紹介し、トレーニング次第で人は変わることができることについてコメント

4月28日 エフエム滋賀(E-radio) 滋賀ダイハツ販売smile-radio内 キラキラドリームカンパニー

※ジュニアボート教室を紹介

5月 5日 朝日新聞 19頁 地域面 大きな父の背を追い前へ

※朝日レガッタに出漕した武田大吾選手、長岡選手について紹介

5月 8日 朝日新聞 27頁 地域面 「再び漕手に」大学休学し専念

※朝日レガッタに優勝した井上愛選手、椎名翔選手、3位となった嶋選手、田中夏選手について紹介

5月 6日 朝日新聞 電子版 瀬田漕艇クラブ、女子で健闘 朝日レガッタ

※朝日レガッタに優勝した井上愛選手、椎名翔選手、3位となった嶋選手、田中夏選手について紹介

5月 6日 朝日新聞 電子版 高校生、シニアも健闘

※マスターズ60歳以上男子シングルスカルで優勝した安達さんについて紹介

レイクスマガジンvol80 5月号 特集 総合型へのあくなき挑戦 考える

※ジュニアボート教室について紹介

5月25日付 京都新聞 23頁 地域面 ひと往来 ボートを楽しむ文化を

※瀬田漕艇クラブでボート楽しむ太田俊二さんについて紹介

7月28日 17時00分～17時30分 KBS京都テレビ きらめき大津

※瀬田漕艇クラブの体験教室について5分程度紹介。

9月24日 中日新聞 10頁、11頁 地域面 県勢10種目制覇

※優勝した男子エイト、マスターズエイト、女子舵手付きクオドルプル、椎名夫婦のダブルスカルを紹介

10月 3日 NHK札幌 ほっとニュース北海道 筋トレブーム到来!? シニアが熱中マシンローイング

※マシンローイング大会近畿ブロック大会の映像を提供

11月10日 NHK BS聖火のキセキ 滋賀隻腕走者が掲げたパラスポーツの炎

※倶楽部創設者古川宗寿さんと瀬田漕艇倶楽部が登場

2収益事業活動

朝日レガッタでのTシャツは会員の中原理歩さんのデザインが今年も好評であり、130枚を3日で完売し、11万円(昨年10.5万円)の利益を得た。エルゴはマシンローイングの払い下げ10台により、6.2万円(昨年5.6万円)、ニールセン商品は5.7万円(昨年9.9万円)の利益を得た。

最終的な粗利は35.5万円(アパレル11.4万円、レンタル8.0万円、エルゴ6.2万円、NK9.9万円、その他(朝日レガッタ出店など)4.2万円)で、目標の50万円に対して71%達成した。昨年は朝日レガッタ参加記念品スパナ企画があり9万円の利益があったため、それを除けば昨年とほぼ同じである。朝日レガッタでのTシャツ販売は、若者の心をつかめるTシャツのデザインを企画できるかどうかで、大きく販売が左右され、デザインによって注文枚数を変えるフレキシブルさが必要である。朝日レガッタ出店はテント確保が問題となっており、会員の協力を必要としている。朝日レガッタFM機器レンタルも時代の流れから遅れている感が出てきている。

通常の物品販売では、ネット販売を継続し、できるだけ労力をかけずに事業を継続していく。今後、可能性のある事業を見出した場合、会員への協力を依頼し、その事業に注力するといった体制を取っていきたい。

2018年活動まとめ

実施時期	実施場所	事業名	倶楽部員 従事人数	受益対象者
1/14(日) 大会前後数日	滋賀県立体育館	第30回全国マシンローイング 大会 近畿ブロックA大会 (前後にホストタウン交流事業)	約100名	参加者920名 海外招待選手7名 中高生ボート部員
2/25(日)	瀬田漕艇倶楽部	定期総会	出席47名委 任37名	正会員151名
4/22(日)	瀬田川	セタシジミ祭/ドラゴン体験	9名	一般市民300名
5/4(金)	瀬田漕艇倶楽部	コーチセミナー		ボート指導者・選手66名
5/13(日)	大津市なぎさ公園	第2回びわ湖ユニバーサルウオ ーキング大会(しがスポーツ大使)	22名	一般市民120名
9/8(土)-9(日)	瀬田漕艇倶楽部 琵琶湖漕艇場	びわこ市民レガッタ (前日練習会&クラブ交流会)	72名	浜寺MC,Penta,WithYou 一般市民約500名
11/24(金・祝)-24(土)	瀬田川	Head of The Seta	延110名	参加延人数614名
12/23(日)	瀬田漕艇倶楽部	クリスマスパーティー		正会員およびその家族
5~11月 第1,3日曜日	瀬田漕艇倶楽部 琵琶湖漕艇場	初心者ボート体験教室 (ドラゴンボート利用含む)		一般市民140名 (内ドラゴンボート60名)
4~10月 12月- 冬季練習	瀬田漕艇倶楽部 琵琶湖漕艇場	ジュニアボート教室		地域小学生11名

倶楽部会員数

	会員数 2017年12月31日	1年間の入会数	1年間の退会数	会員数 2018年12月31日
正会員(家族会員)	149 (17)	27(8)	11 (2)	165(23)
賛助会員	66	2	3	65
合計	215 (17)	29 (8)	14(2)	230(23)

2018年度競技活動結果

☆全国マシニング大会近畿ブロック大会☆1月14日

- 女子 9歳以下 元安梓 3分03秒6※500m
男子12歳以下 武良陽 5分22秒7※1,000m
女子16歳～18歳 Anne Katrine Kiilgaard(DEN招待選手) 7分41秒5、嶋 8分04秒5
田中夏 8分19秒3
男子16歳～18歳 Esben Sovndahl(DEN招待選手) 6分23秒8、井上日 7分15秒0
武良大 7分35秒0、東虎太郎 8分19秒6
女子19歳～29歳軽量級 Stine Mathiasen(DEN招待選手) 7分47秒1、坂東 8分39秒0
男子19歳～29歳軽量級 Mads Fischer(DEN招待選手) 6分34秒4、東田 6分38秒3、
山口将 6分41秒5、和田 6分44秒0、湯 7分07秒6、長岡 7分27秒9
女子19歳～29歳オープン Kate Petersen (DEN) 7分13秒3、椎名翔 7分40秒3
男子19歳～29歳オープン Mark Hartsteen (DEN招待選手) 6分08秒1、永谷 6分35秒6
女子30歳～39歳軽量級 坂本春 8分26秒6
男子30歳～39歳軽量級 椎名孝 6分35秒7
男子30歳～39歳オープン Eric Murray(NZL招待選手) 6分27秒2、奥村 6分40秒9
Martin Schjerning(DEN招待選手) 6分42秒2、丸岡 7分08秒2
男子40歳～49歳軽量級 狩谷 7分31秒5、元安崇 7分54秒8
男子40歳～49歳オープン 京 7分11秒5
男子50歳～59歳軽量級 宇野 7分39秒2、三反崎 7分59秒6
男子50歳～59歳オープン 鷹野 7分02秒1、武良誠 7分31秒1
男子60歳～69歳軽量級 尾崎準 7分55秒1
男子60歳～69歳オープン 渡辺道 8分27秒4
男子70歳以上 安達 7分27秒9

☆全国高体連通信制20分エルゴ記録(1月測定分)☆

- 男子 林颯一郎 5,319m 164位
女子 嶋 4,830m 59位、田中夏 4,698m 153位 ※順位は全国順位

☆日本代表候補選手最終選考予選☆3月14日

- 軽量級男子1× 東田 21位(男子全体33位)、永谷 49位(男子全体85位)

※東田選手は日本代表選手最終選考レースに進出

☆日本代表候補選手最終選考レース☆3月24日～26日

- 軽量級男子1× 東田 23位

☆お花見レガッタ☆3月23日～25日

- 女子2× 井上愛(法政大学B) 13位(C決勝1位)

☆中川運河ロングレース☆3月25日

- 男子1× 安達 17分23秒 7位、鶴瀬 19分30秒 19位
ナックルフォア 尾崎準、尾崎幸、佐々木高、東暢子、三登 20分27秒 優勝

☆JOCジュニアオリンピックカップ・全日本ジュニアボート選手権大会☆

- 女子1× 嶋 47位

☆中日本レガッタ☆4月20日～22日

- 高校女子4×+ 田中夏(滋賀高校選抜) 準決勝6位

☆大阪シティレガッタ☆4月14日～15日

- 男子ナックルフォア 渡辺道(浜寺マスターズM-4) 準決勝2位

☆朝日レガッタ☆5月3日～6日

男子1× 東田 4位、奥村 準決勝 3位
女子1× 今村美(香川大学) 準決勝4位
高校男子1× 武良大 予選 5位、東虎太郎 予選5位
男子1×50歳以上 太田俊 6位、鶴瀬 予選4位
男子1×60歳以上 安達 優勝、下村 3位、渡辺(NEPTUNE W) 6位
男子2× 山口将 椎名孝 4位、倉本 井原 準決勝2位、永谷 和田 準決勝6位、
狩谷 大越 準決勝6位、武田 長岡 予選5位
女子2× 椎名翔 井上愛 優勝、藤岡 坂東 予選4位
高校男子2× 林颯一郎 井上日 6位
高校女子2× 嶋 田中夏 3位
男子4+ 矢地洋(中国電力しまね) 3位、今村拓(レジェンドto島根) 準決勝4位
男子8+ 中村眞 黒田 羽田 岩見歩 小田 京 木村俊 橋爪 浦野 準決勝6位
マスターズ50歳以上男子KF 太田弘 三反崎 佐々木高 青木博 尾崎準 5位、今村拓(びわろーZ) 3位
マスターズ40歳以上女子KF 三登(BLクラブレッド) 3位、東暢子(BLクラブイエロー) 5位
パラローイング男女KF 今村拓(びわろーB) 3位

☆大津市民レガッタ☆5月13日

熟年男子 中村眞 下村 尾崎準 鷹野 安達 優勝、長岡 木所 岩見秀 青木博 植田 準優勝
熟年女子 太田弘 安藤 長瀬 木下 尾崎幸 優勝
東暢子 (BLクラブS) 3位、三登、ショーバック真理子(BLクラブZ) 4位
成年男子 今村拓(びわろーレッドモンキーズ) 3位
オープン男子 今村拓(びわろーパープルコーチバンビーズ) 準優勝

☆全日本軽量級選手権☆5月18日～20日

男子1× 東田 4位
女子1× 井上愛 準決勝4位
男子2- 山口将 椎名孝 4位

☆全日本マスターズレガッタ☆5月26日～27日

※レース毎に順位が決定

男子1×A(27歳～35歳) 盛田悠 3位
男子1×D(50歳～54歳) 三反崎 5位
男子1×E(55歳～59歳) 鶴瀬 2位
男子1×F(60歳～64歳) 下村 2位、青木 2位、植田 4位
男子1×H(70歳～74歳) 安達 優勝
男子1×K(85歳～89歳) 木野 優勝
女子1×B(36歳～42歳) 坂本春 優勝
女子1×F(60歳～64歳) 中出 優勝
女子1×G(65歳～69歳) 長瀬 優勝
女子1×I(75歳～79歳) 中西 優勝
男子2×F(60歳～64歳) 下村 青木 優勝、植田 尾崎準 優勝
男子2×I(75歳～79歳) 木野 安達 優勝
女子2×I(75歳～79歳) 中西 八木2位
混成2×C(43歳～49歳) 盛田道 盛田悠 4位
混成2×E(55歳～59歳) 木下 今城 優勝
混成2×F(60歳～64歳) 尾崎幸 尾崎準 優勝
混成2×H(70歳～74歳) 八木 安達 優勝
男子4+D(50歳～54歳) 草野 三反崎 木所 鷹野 今城 2位
男子4×+E(55歳～59歳) 下村 青木(瀬田工夕照会) 優勝
男子4×+E(55歳～59歳) 今城(医王会クオド) 4位
女子4×+E(55歳～59歳) 草野 長瀬 尾崎幸 東暢子 盛田道 優勝

女子4×+G(65歳～69歳) 坂本春 木下 八木 中出 太田弘 優勝
 混成4×+G(65歳～69歳) 太田弘 下村 青木 中出 中西 優勝
 男子8+E(55歳～59歳) 坂本春 木所 今城 三反崎 安達 鷹野 鶴瀬 植田 尾崎準 2位
 男子8+H(70歳～74歳) 坂本春(MAKIKO73) 優勝
 女子8+F(60歳～64歳) 坂本春 東暢子 尾崎幸 竹内 盛田 太田弘 木下 中出 長瀬 優勝
 混成8+C(43歳～49歳) 坂本春(キラールホエール) 優勝
 混成8+F(60歳～64歳) 東暢子(MAKIKO64) 2位
 混成8+G(65歳～69歳) 長瀬(MAKIKO69) 2位
 男子KF D(50歳～54歳) 三反崎(医王会ナックル I) 5位
 男子KF E(55歳～59歳) 木所 鷹野 (Elite Crew) 優勝
 男子KF F(60歳～64歳) 植田 下村 鶴瀬 青木 深田 2位
 男子KF G(65歳～69歳) 青木 今城(医王会ナックル II) 2位
 男子KF H(70歳～74歳) 太田弘 安達 尾崎準 植田 木野 3位
 女子KF F(60歳～64歳) 草野 竹内 東暢子 太田弘 長瀬 優勝
 混成KF C(43歳～49歳) 三反崎 東暢子 坂本春 深田 2位

☆滋賀県高等学校春季総体☆5月26日～27日

女子1× 田中夏(東大津高校) 準優勝

☆西日本選手権☆6月9日～10日

男子1× 永谷 4位、井原 6位、井上日 9位、長岡 13位
 女子1× 嶋 準優勝、今村美(香川大学) 5位、井上愛 6位
 男子2- 山口将 椎名孝 優勝
 男子4× 嶋 安部 高谷 井原 準優勝
 男子8+ 山口将 椎名孝 倉本 永谷 長岡 3位※品川リフラクトリーズと混成
 男子1×50歳以上 青木 4位、尾崎準 6位、太田俊 7位

☆近畿高校ボート選手権大会☆6月9日～10日

男子1× 林颯一郎(東山高校) 6位

☆滋賀県民体育大会☆6月16日

成年男子1×(国体選考会) 東田 優勝、奥村 準決勝4位
 高校男子1× 井上日 決勝3組1位
 高校女子2× 嶋 田中夏 優勝
 男子4+ 中村真 黒田 小田 京 羽田 3位
 男子1×60歳未満 鷹野 優勝、高橋 準優勝、鶴瀬 3位、太田俊 4位
 男子1×60歳以上 安達 優勝、下村 準優勝、尾崎準 3位
 女子1×60歳以上 長瀬 優勝、八木 準優勝
 女子2×60歳以上 太田弘 中西雅 優勝

☆京都ボート選手権☆6月17日

少年男子1× 林颯一郎(東山高校) 優勝
 成年女子1× 坂東 4位
 成年男子1× 山口将 準優勝

☆山口県知事杯☆6月16日～6月17日

女子1× 椎名翔 優勝

☆朝日茨戸レガッタ☆6月30日～7月1日

40歳以上1× 安達 優勝、長瀬 準優勝、中西 5位
 混成2× 安達(道新瀬田) 優勝
 ジョيوفォア 草野 中西 太田弘 長瀬 坂本春 準優勝
 チャレンジエイト 安達、坂本春(ALLじゃぽん&MRC) 準優勝

☆全日本社会人選手権☆7月7日～8日

女子4× 井上愛(戸田中央総合病院RC) 4位
男子1×60歳以上 安達 3位、下村 4位、長瀬 オープン参加

☆国体近畿ブロック予選☆7月15日

少年女子2× 嶋 田中夏(滋賀選抜) 2位(本大会出場)
成年男子1× 東田 3位
成年女子4×+ 坂東(京都府選抜) 4位
少年男子1× 林颯一郎(京都府選抜)5位

☆国体中国ブロック予選☆7月15日

成年女子1× 椎名翔(瀬田RC山口) 優勝(本大会出場)

☆国体九州ブロック予選☆7月14日～15日

成年女子4×+ 安部(福岡県選抜)3位(本大会出場)

☆国体関東ブロック予選☆7月21日～22日

成年女子1× 井上愛(千葉選抜) 5位
成年男子4+ 椎名孝(群馬選抜) 4位

☆国体四国ブロック予選☆7月22日

成年男子1× 井原(香川選抜) 2位(本大会出場)
成年女子4×+ 今村(香川選抜) 2位(本大会出場)

☆関西選手権☆8月11日～12日

男子1× 東田 優勝、井上日 準決勝5位、長岡 敗者復活棄権
女子1× 井上愛 6位、今村美 敗者復活 3位
男子2- 椎名孝 山口将 優勝
男子2× 高谷 永谷 敗者復活2位、井原 杉原 敗者復活2位、武田(ダイキタケダ) 準決勝3位
女子2× 安部 嶋 準決勝3位坂東 藤岡 準決勝4位
男子8+ 岩見歩(京都大学)11位

☆滋賀県ジュニア選手権☆8月25日～26日

男子1× 井上日 A決勝進出、石原魅 B決勝進出
男子2× 渡邊直 井上陽 B決勝進出
エキシビジョン 嶋、田中夏(女子2×) 2位

☆富士河口湖レガッタ☆9月1日～2日

1×50歳以上(1,000m) 下村 優勝、安藤 3位
1×50歳以上(500m) 八木 優勝
2×50歳以上(1,000m) 下村、安藤 3位、深田 八木4位

☆全日本大学選手権☆9月6日～9日

女子1× 今村美(香川大学) 敗者復活B組4位

☆オックスフォード盾レガッタ☆9月8日～9日

男子8+ 倉本(KENZO RC) 敗者復活G組3位

☆びわこ市民レガッタ☆9月8日～9日

市民オープン 田中彰(Z63) 8位、深田(上京ファイターズ) 準決勝4位、
勝部(チームここからNEO) 敗者復活3位
市民シニア 東暢子 ショーバック真理子(BLクラブteamT) 優勝、磯田(大津市役所ボート部A) 3位
市民レディース 中西 小島 木村祐 上坂 中出(健チャンズ) 準決勝6位、安藤(with YOUやよい) 3位
OB・OGシニア 佐々木高、副島(島根大学水会B) 準決勝4位

☆全国市町村交流レガッタ☆9月15日～16日

成年男子 磯田(大津市役所ボート部Y) 交流A組6位
壮年男子 杉森(TMTファイバーズB) 4位
熟年男子 中村真 下村 鷹野 安達 尾崎準 優勝、青木尚 青木博 木所 奥山 岩見秀 深田 交流A組2位
熟年女子 太田弘 安藤 長瀬 木下 尾崎幸 準優勝

☆びわ湖レガッタ☆9月22日～23日

男子1× 南條 4位、高谷 予選1組4位
男子1×40歳以上 田中彰 準優勝
男子1×60歳以上 安達 優勝、下村 準優勝
男子2× 椎名孝 椎名翔 3位
高校女子2× 田中夏 嶋 3位
女子4×+ 藤岡 坂東 安部 猪飼 東田 優勝
今村美(香川選抜) 準優勝
男子8+ 橋爪 黒田 羽田 ショーバック英輔 小田 京 木村俊 小山 浦野 優勝
今村拓(びわろ一) 3位
男子8+50歳以上 中村眞 青木博 中井 宇野 奥城 太田俊 尾崎準 佐々木高 植田 優勝

☆FISAワールドマスターズレガッタ(アメリカ:フロリダ州サラソタ)☆9月27日～30日※レース毎に順位が決定

男子E 1×(60歳以上) 下村 2位
男子F 1×(60歳以上) 安達 4位、植田 5位、下村 5位
女子F 1×(60歳以上) 長瀬 5位、中出 8位
男子G 1×(65歳以上) 安達 優勝
女子G 1×(65歳以上) 長瀬 5位
男子H 1×(70歳以上) 安達 優勝
男子G 2×(65歳以上) 植田 6位
女子G 2×(平均65歳以上) 中西 中出 7位、太田弘 長瀬 7位
女子H 2×(平均70歳以上) 中西 太田弘 8位
混成G 2×(平均65歳以上) 安達 長瀬 優勝
男子E 4×(平均55歳以上) 植田 下村 6位
女子G 4×(平均65歳以上) 中西 太田弘 中出 長瀬 5位
男子H 4×(平均70歳以上) 植田 5位
混成G 4×(平均65歳以上) 植田 下村 中西 中出 4位
男子G 8+(65歳以上) 植田 5位

☆福井国体☆9月30日～10月3日

成年男子1× 井原(香川選抜) 準決勝C組4位
成年女子1× 椎名翔(山口選抜) 3位
成年男子2× 椎名孝(群馬選抜) 準決勝B組 4位、山口将(京都選抜) 準決勝D組5位
少年女子2× 田中夏 嶋(滋賀選抜) 予選B組5位
成年女子4×+ 安部(福岡選抜) 準決勝D組4位、今村美(香川選抜) 予選C組5位

☆ボートクラブ選手権☆10月14日

親子の部 武良美 武良陽 準優勝

☆京都レガッタ☆10月14日

男子1× 高谷 優勝
高校男子1× 林颯一郎(東山高校)優勝
マスターズ男子1× 安達 優勝、鶴瀬 4位
マスターズ女子1× 長瀬 優勝
男子2× 杉藤洋 東田 準優勝
女子2× 安部 嶋 優勝
混成2× 東田 猪飼 優勝、尾崎準 尾崎幸 6位
男子4+ 下村 田中彰 安藤 東暢子 八木 敗者復活5位
男子8+ 橋爪 黒田 羽田、ショーバック英輔 小田 京 木村俊 小山 浦野4位
マスターズナックルOB 木所(桜艇会関西) 3位

☆全日本選手権☆10月25日～28日

男子1× 東田 準決勝D組3位

女子1× 井上愛 敗者復活A組4位

男子2- 椎名孝 山口将 敗者復活C組3位

男子2× 南條 永谷 敗者復活D組4位

☆全国高体連通信制20分エルゴ記録☆10月28日

男子 林颯一郎 5,570m 23位、井上日 5,133m 504位、林晋作 5,129m 515位、
渡邊直 4,877m 1171位、井上陽 4,665m 1511位

☆全国高等学校選抜ボート大会近畿地区予選会☆11月3日～4日

男子1× 林颯一郎(東山高校) 優勝

☆全日本新人選手権☆11月9日～11日

女子2× 安部 嶋 準決勝C組3位

☆宮ヶ瀬紅葉レガッタ☆11月18日

混成2× 尾崎準 尾崎幸 優勝

☆クリスマスチャレンジカップ☆11月18日

男子4+ 椎名孝(ハローハッピーサンタ) 優勝

☆U19 日本代表候補選考 6000mTT☆11月19日

男子1× 林颯一郎(東山高校) 17位

☆Head of The Seta☆11月23日～24日

男子1× 東田 優勝、井原15位

女子1× 嶋 3位

男子1×50歳以上 鵜瀬 4位、岩見 6位

男子1×60歳以上 下村 3位、青木博 4位、植田 6位、深田 9位

女子1×60歳以上 長瀬 優勝、中出 準優勝

男子1×70歳以上 安達 優勝

女子1×70歳以上 太田弘 優勝

男子2× 井上日 林颯一郎 準優勝、尾崎準 尾崎幸 17位

女子2× 坂本春(はるまり)3位

男子4+ 杉藤洋、武良誠、香川 7位

男子8+ 椎名孝、山口将、南條(竹内Dream) 優勝、
鷹野、木所(稲門ミドル&瀬田漕艇クラブ) 10位、京(パルテ会) 16位

男子8×+ 今城(ドラちゃんズ2018) 優勝※オープン

男子カナディアンシングル 池端 9位

ナックルフォア 安藤(with You 神鷹) 3位

ドラゴンボート 東暢子(ドラゴンボート異チーム交流会C) 準優勝

☆全国マシローイング大会四国ブロック大会☆11月24日

女子19歳～29歳軽量級 今村美(香川大学) 8分1秒6

☆近江湖南アルプスTRAIL RUNRACE☆12月2日

29歳以下男子 永谷 5位 ※全体 74位

30代男子 椎名孝 15位 ※全体 60位

40代男子 押領司 7位 ※全体 14位

50代男子 鷹野 20位 ※全体116位

☆U19発掘育成合宿3000mTT☆12月15日

男子1× 林颯一郎(東山高校) 11位/20艇中

☆U19発掘育成合宿1500mTT☆12月17日

男子1× 林颯一郎(東山高校) 9位/20艇中 ※2setの平均で順位を算出

[2] 2018年度会計報告

1.平成30年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動計算書 (単位:円)

平成30年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動計算書						
(H23NPO会計基準で表示)						
平成30年1月1日から平成30年12月31日まで						
科 目	予算額		決算額		差異	
I 経常収入の部						
1 会費、入会金収入						
会費	5,190,000		5,035,000		155,000	
入会金	750,000	5,940,000	750,000	5,785,000	0	155,000
2 受取寄付金						
賛助金(個人)	400,000		390,000		10,000	
賛助金(法人)	100,000		100,000		0	
特別寄付金(借艇弁償金補填)	3,000,000		1,215,000		1,785,000	
一般寄付金(その他)	0	3,500,000	10,000	1,715,000	△ 10,000	1,785,000
3 受取助成金						
受取助成金	170,000	170,000	150,000	150,000	20,000	20,000
4 事業収入						
1 マシンローイング近畿大会	1,600,000		2,040,660		△ 440,660	
2 びわこ市民レガッタ	1,110,000		958,000		152,000	
3 Head Of The Seta	1,350,000		1,096,300		253,700	
4 市民教室(体験教室)	400,000		209,500		190,500	
5 朝日レガッタコーチセミナー	150,000		97,000		53,000	
6 レガッタ支援(全国市町村レガッタ)	150,000		40,000		110,000	
7 イベント支援(しじみ祭り、ユバースルウォーキング)	95,000		105,000		△ 10,000	
8 クラブコーチ事業	1,428,000		1,164,708		263,292	
9 海外選手交流事業(MR)	0		604,260		△ 604,260	
10 スポット事業	0		0		0	
		6,283,000		6,315,428		△ 32,428
3 その他収益						
受取利息	3,000		1,434		1,566	
雑収益	20,000	23,000	0	1,434	20,000	21,566
経常収入合計		15,916,000		13,966,862		1,949,138
II 経常支出の部						
1 事業費						
1 マシンローイング近畿大会	1,100,000		1,569,893		△ 469,893	
2 びわこ市民レガッタ	600,000		581,924		18,076	
3 Head Of The Seta	750,000		456,103		293,897	
4 市民教室(体験教室)	50,000		17,168		32,832	
5 朝日レガッタコーチセミナー	100,000		94,340		5,660	
6 レガッタ支援(全国市町村レガッタ)	0		0		0	
7 イベント支援(しじみ祭り、ユバースルウォーキング)	0		0		0	
8 クラブコーチ事業	3,000,000		3,002,592		△ 2,592	
9 海外選手交流事業(MR)	0		594,156		△ 594,156	
10 スポット事業	0		0		0	
		5,600,000		6,316,176		△ 716,176
2 管理費(倶楽部運営、管理諸費用)						
給料手当	700,000		668,660		31,340	
レクリエーション費	30,000		0		30,000	
会誌発行費	220,000		179,434		40,566	
会議費	40,000		15,809		24,191	
交際費	10,000		16,722		△ 6,722	
通信運搬費	50,000		16,272		33,728	
消耗品費	390,000		410,842		△ 20,842	
保全費	1,230,000		386,596		843,404	
施設費	800,000		259,877		540,123	
水道光熱費	700,000		622,771		77,229	
減価償却費	3,400,000		3,490,919		△ 90,919	
保険料	120,000		121,188		△ 1,188	
諸会費	20,000		27,200		△ 7,200	
租税公課	500,000		579,700		△ 79,700	
支払手数料	250,000		15,576		234,424	
広告費	20,000		20,000		0	
強化費	350,000		392,748		△ 42,748	
選手登録費	65,000		65,000		0	
雑費	400,000		0		400,000	
予備費	0	9,295,000	0	7,289,314	0	2,005,686
経常支出合計		14,895,000		13,605,490		1,289,510
III 経常外収益の部		0		0		0
IV 経常外費用の部						
固定資産除却損		0		3	△ 3	△ 3
経常外増減額		0		△ 3		3
経理区分振替額						
収益会計より繰入	100,000		0		100,000	
		100,000		0	0	100,000
税引前当期正味財産増減額		1,121,000		361,369		759,628
前期繰越正味財産		94,078,577		94,078,577		
当期正味財産合計		95,199,577		94,439,946		

2. 平成30年度「特定非営利活動に係わる事業会計」貸借対照表 (単位:円)

平成30年度「特定非営利活動に係わる事業会計」貸借対照表

平成30年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

(単位 : 円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	193,970	
普通預金	19,774,434	
未収入金	0	
MR大会諸費用仮払金	232,608	
流動資産 合計		20,201,012
2 固定資産		
艇庫	32,547,554	
構築物	2,224,068	
艇	1,664,845	
備品	259,403	
土地	24,000,000	
固定資産 合計		60,695,870
3 投資その他の資産		
艇庫積立金	15,030,334	
長期前払費用	192,880	
投資その他の資産 合計		15,223,214
資産合計		96,120,096
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	250,000	
前受金	0	
仮受金	4,000	
預り金	153,150	
MR大会前受金	1,273,000	
流動負債 合計		1,680,150
2 固定負債	0	
負債合計		0
負債合計		1,680,150
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額		94,078,577
当期正味財産増加額		361,369
正味財産 合計		94,439,946
負債及び正味財産 合計		96,120,096

3.平成30年度「収益事業会計」活動計算書 (単位:円)

平成30年度「収益事業会計」活動計算書

平成30年1月1日から平成30年12月31日まで

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

(単位 : 円)

科 目	金 額	
I 経常収益の部		
1 事業収益		
販売、サービス事業収入	2,172,453	2,172,453
2 その他の収益		
預金利息 他	260	260
経常収益 計		2,172,713
II 経常費用の部		
1 事業費		
事業収益原価	1,804,864	1,804,864
2 管理費		
事務通信費	86,127	
その他の経費	9,367	95,494
経常費用 計		1,900,358
当期経常増減額		272,355
経理区分振替額		
収益事業会計振替額		0
税引前当期正味財産増減額		272,355
法人税、住民税及び事業税		72,200
当期正味財産増加額		200,155
前期繰越正味財産額		4,909,684
次期繰越正味財産額		5,109,839

※5.収益事業会計報告 参照

4. 平成30年度「収益事業会計」貸借対照表 (単位:円)

平成30年度「収益事業会計」貸借対照表

平成30年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

(単位 : 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	125,623		
普通預金	5,010,954		
在庫商品	45,462		
流動資産 合計		5,182,039	
資産 合計			5,182,039
II 負債の部			
1 流動負債			
未払法人税等	72,200		
流動負債 合計		72,200	
負債 合計			72,200
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		4,909,684	
当期正味財産増加額		200,155	
正味財産 合計			5,109,839
負債及び正味財産 合計			5,182,039

5. 収益事業会計報告 (単位:円)

2019年1月26日

収益事業会計報告

(2018年1月1日～2018年12月31日)

総括

前年度繰越

今年度決算

(円)		今年度	(円)		次年度
現預金	5,330,106	→ 収益活動 →	現預金	5,136,577	→ 収益活動 →
売掛金・立替金	0		売掛金・立替金	0	
在庫	26,778		在庫	45,462	
固定資産	0		固定資産	0	
NPO事業勘定	0		NPO事業勘定	0	
前受金	△ 375,000		前受金	0	
未払法人税等	△ 72,200		未払法人税等	△ 72,200	
純資産	4,909,684	純資産	5,109,839		

明細

品名	原価	売上金	粗利益		
			予算	実績	差額
ハートレートモニタ	0	0		0	0
ニールセンケラーマン社製品	335,070	391,800		56,730	△ 56,730
冊子	12,960	7,674		△ 5,286	5,286
アパレル	195,552	314,750		119,198	△ 119,198
レンタル事業	0	80,000		80,000	△ 80,000
エルゴ	1,188,000	1,250,000		62,000	△ 62,000
朝日レガッタ参加賞作成	0	0		0	0
その他(※)	73,282	128,489		55,207	△ 55,207
合計	1,804,864	2,172,713	0	367,849	△ 367,849

雑収入(自販機)	0	15,389	0	15,389	△ 15,389
預金利息	0	13	0	13	△ 13
テント場所受取手数料	73,282	103,000	0	29,718	△ 29,718
送料差額収入	0	840	0	840	△ 30,940
施設利用料	0	9,000	0	9,000	△ 30,940
その他雑収入	0	247	0	247	△ 247
合計	73,282	128,489	0	55,207	△ 55,207

その他雑収入・・・前年度預金利息の源泉等還付等

共通経費	予算	実績
事務通信費		86,127
その他の経費		9,367
棚卸廃棄損	0	0
合計	0	95,494

当期収入額	2,172,713
売上原価	1,804,864
	367,849 粗利益
共通経費	95,494
	272,355 税引前利益
法人税額	72,200
	200,155 当期利益
特定非営利活動事業会計繰入金	0
	200,155 収支差額

特定非営利活動事業会計繰入金		0
未払法人税等(当期分)	72,200	72,200

6. 平成30年度 財産目録 平成30年12月31日現在 (単位:円)

平成30年度 財産目録

平成30年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

(単位 : 円)

科目・摘要	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金		
現金 (一般)	193,970	
現金 (収益)	125,623	
普通預金 滋賀銀行 石山支店 No.198794 (一般)	5,770,268	
普通預金 滋賀銀行 瀬田支店 No.522662 (特別)	1,205,060	
普通預金 滋賀銀行 瀬田支店 No.521114 (一般)	91,709	
普通預金 滋賀銀行 石山支店 No.198783 (収益)	1,498,790	
普通預金 滋賀銀行 膳所支店 No.512577 (収益)	47,089	
郵便貯金 普通通帳 (一般)	4,202,822	
郵便貯金 大会受付 (一般)	3,784,337	
郵便貯金 会費 (一般)	4,720,238	
郵便貯金 事業別会計 (一般)	0	
郵便貯金 (収益)	3,465,075	
在庫商品(販売商品在庫高)	45,462	
仮払金(H31年MR大会経費分)	232,608	
流動資産 合計		25,383,051
2 固定資産		
固定資産		
艇庫積立金	15,030,334	
建物	32,547,554	
構築物	2,224,068	
艇	1,664,845	
備品	259,403	
土地	24,000,000	
長期前払費用(火災保険料)	192,880	
固定資産 合計		75,919,084
資産合計		101,302,135
II 負債の部		
未払金(H30年請求経費分)	250,000	
未払法人税等	72,200	
預り金(源泉所得税)	153,150	
仮受金(10/18入金 オオシタリヨウ)	4,000	
前受金(H31MR大会収入分)	1,273,000	
流動負債 合計		1,752,350
負債合計		1,752,350
正味財産		99,549,785

以上の通り報告いたします。

2019年1月26日 会 計 坂本 春奈

以上、会計処理は、公正妥当に処理されており、
これら決算諸表は、適正に表示されている事を認めます。

監 事 太田 俊二

[3] 2018年度監査報告

監事 竹内英子

瀬田漕艇倶楽部が創部した当時を知る者の一人として、今の姿はとても想像できなかったという事を皆さんに知ってもらいたい。それだけ瀬田漕艇倶楽部が進化して来ているという事です。1977年当時、本拠地すら持たなかった我々が今の地を本拠地に定め活動をしてこられたのは、今までのその時々々のリーダーを中心とし、互いに知恵を出し合い、討議をし、熱い心で行動を起こしてきたからだと思います。今後も50年100年と活動を続け進化していくには、次世代のリーダーの育成を続けて行く事が重要であり、今倶楽部を任せられている理事を中心に会員一人ひとりが知恵を出し合い、行動する事が急務でしょう。

生涯スポーツの推進の面では、平日の早朝から午前、午後と一日を会員が施設を利用して活発なローイングをする姿が見られる。週末においても早朝から午前を中心に活動をする姿を見うける。レース出場に情熱的なメンバーでローイングをエンジョイする会員が増えている中、アスリート志向の選手活動をする会員が増えることを希望したい。そして、競漕とは別のローイングの持つ心身健康保持増進の為のスポーツとしての意義がしっかりと認知され、それに取り組む人たちが増えると更に輪が広がると思う。

三大事業においては、実行委員会を中心に1年を通して熱心に、かつ熟考して取り組む姿が見られる。しかし、一方ではスタッフ集めが毎回大変だと言う話も聞く。実行委員のスタンスとして、昨年と同じことをするだけでは進化を止めてしまうことを意識し、新しいことを創造してボート界を変革するという気持ちを持ち続けてほしい。会員の皆さんは、三大事業が今後も続けていく事業なので、日程が決定次第予定を調整し、大会スタッフとしての参加をお願いしたい。施設維持費・用具の保守や購入費・人件費など、運営を賄うには現在の会費だけでは不足しているのが現状なので、三大事業による収益の確保と更なる収入を得る活動をお願いしたい。

監事(会計) 太田俊二

- 1、この数年、倶楽部運営収支 100万円、NPO事業(コーチ事業除く)収支 200万円、収益事業収支 50万円の計350万円の現金収支確保を目標としている。今年度の実績は、計424万円の現金収支を確保できたが、これには経常外の艇購入寄付金121万円が含まれているので、経常的な収支としては、303万円となり約50万円の目標未達であった。各事業や日常の活動の中で、少しずつ工夫することで目標達成可能なところまで来ている。2019年度は、目標達成すべく、さらなる工夫・取り組みをお願いしたい。
- 2、今年度も多くの新入会員が仲間に加わった。会員が増えて活動が活発になることは、大変喜ばしいことである。しかし、多くの会員が倶楽部に集まり、施設や設備(艇・オール等)の稼働が高まると、運営費や維持・メンテナンス費も増える。艇やオールを大事に扱う、不具合に気づいたらその場で対処する、不要な照明は消す、エアコンを適切に使用するなどを、会員一人ひとりが心掛けることで不要な支出を抑えて、必要な支出を確実に実行していくようお願いしたい。
- 3、Furukawa House建設にあたり、艇庫積立金を取り崩した。その後、会員の工夫・努力もあり、現預金残高が着実に増加している。改めて、中長期の資金計画・投資計画を策定し、艇庫積立金の積み増しや艇購入など定期的な支出への積立(管理上の区分)について検討をお願いしたい。

[4] 2019年度役員(2020年改選、任期2年)

NPO法人瀬田漕艇倶楽部 理事および監事

理事(代表)	黒田 士朗
理事(専務)	狩谷 悟史
理事(保全)	大越 将洋
理事(強化)	井原 一篤
理事(安全管理)	今村 拓也
理事(広報)	木村 俊紀
理事(施設)	中 俊久
理事(収益)	京 基樹
理事(普及)	三反崎 晋
理事(会計・財務)	坂本 春奈
監事(事業)	竹内 英子
監事(会計)	太田 俊二

実行委員長及び審判長

びわこ市民レガッタ	中村 眞
Head Of The Seta	藤井 恒太
マシンローイング大会	阪口 雅弘
コーチセミナー	坂本 春奈
審判長	山崎 有紀

事務局

倶楽部事務担当	盛田 道子
クラブ事業担当	鷹野 大郎
社会貢献事業担当	鵜瀬 正樹
管理・全般担当	今城 律雄

[5]活動計画(案)

将来のあるべき姿

- 1.全体 地域に根差した倶楽部となるべく、会員や家族はもとより、地域市民や国内外クラブとの交流の場として、活きた倶楽部運営・Furukawa House活用を実現する。また、スポーツの振興・普及に貢献する。「日曜スカラーからチャンピオンまで」実現に向けた指導體制の確立。
- 2.安全 受傷事故絶対ゼロ。
- 3.保全 会員全体がクラブ設備保全に高い意識を持ち、共有物という意識をしっかりと持つ。
- 4.施設 保守(メンテナンス)の長期計画策定。計画に沿った保守の予算化と実施。
- 5.事務 効率的な事務業務。組織として運営できる体制にする。
- 6.特別 びわこ市民レガッタ、Head of the Seta、マシンローイング大会を運営し、150万円の利益を得る。また、行政や地域諸団体とも連携し、大津・瀬田川の風物詩となるイベントに発展させる。
- 7.普及 季節毎に水上スポーツの普及イベントを開催する。
- 8.収益 年間100万円の利益を得る。
- 9.財務 中・長期計画に基づき新艇庫建設・設備投資等の積立金を確保する。
10. 広報 月一回の会報発行を継続。わかりやすいシンプルなホームページを提供。
- 11.活動 (1) 60人以上のアクティブメンバー(月に4回以上倶楽部に来る)が活動している。
(2) ボート常任コーチの設置とともに、ボート全日本選手権最終日に5クルー以上残る。
(3)一般市民が水上スポーツに触れ合う機会を提供する。

2019年度の具体的な活動計画

- 1.全体 倶楽部理念や建設の趣旨に沿ったFurukawa Houseの活用を検討・実践し、世代を超えた会員間の交流や他団体との交流を活発化する。
三大事業に集中して運営を進める。より良い倶楽部運営体制の検討。
認定NPO法人への寄附金優遇税制を活かした、賛助会員の拡大策の検討・実施。
- 2.安全 (1) 安全規則の随時見直し(初版2005年)。
(2) 安全講習会実施、沈回復の練習会の実施。
(3) インシデント・アクシデントレポート作成の推進。
- 3.保全 整理整頓という基本的な事を行う為、徹底的に管理する。
- 4.施設 老朽化した所の対応、使い勝手を見直した修繕計画と備品購入計画。芝生の整備。
- 5.事務 各担当者との連携による円滑な事務作業。事務局のあり方検討とより良い倶楽部運営への貢献策
- 6.特別 びわこ市民レガッタの参加者100クルー(500人)以上。地元企業、自治体、自治会から募る。
Head Of The SETAの参加者800人以上。各ボート団体への個別交渉。
近畿マシンローイングA大会を運営し、参加者1,000人以上。
三大事業合計150万円以上の収支を得る。
プロ(有給)コーチによる、小学生ボート教室や会員向けコーチングを継続・拡大する。
- 7.普及 ボート・ドラゴンボート・カヌーの体験教室をクラブ全体で運営し、年250人を目標とする。新たな普及活動を検討・実行していく
- 8.収益 ウェブを活用して、年間50万の収益確保に取り組む。
新たな収益財源確保に向けて具体案を検討する
- 9.財務 正・賛助会員拡大に向けてのツール作成。会計フローの整理・定着化。
- 10.広報 月一回の確実な会報発行。漕艇通信500号記念誌の発行。
- 11.活動 倶楽部運営収支100万円、NPO事業収支200万円、収益事業収支50万円の計350万円の現金収支を確保するための、工夫・新たな取り組みを計画、実行
選手チームは、全日本選手権でのメダル獲得を目標とする。選手層のメンバー獲得を推進する。
杉藤コーチの指導のもと、競技力強化、魅力ある選手チーム作りを進める。

[6] 2019年度NPO法人瀬田漕艇倶楽部 年間事業計画 (案)

月	日	事業名	大会日程
1	20(日) 27(日)	全国マシンローイング大会近畿大会 全員集合日	初漕会(1/2) 全国マシンローイング大会近畿ブロック大会(1/20)
2	24(日)	定期総会 全員集合日	大津市民駅伝(2/3)
3	24(日)	全員集合日	全国高等学校選抜大会(3/22-24) 中川運河ロングレース(3/??)
4	28(日)	全員集合日 ドラゴンボート体験(セタシジミ祭)	西日本選手権(4/20-21) 大阪シティーレガッタ(4/27-28) 全日本ジュニア選手権 中日本レガッタ
5	4(土) 26(日)	朝日レガッタコーチセミナー 全員集合日	朝日レガッタ(5/3-6) 滋賀県中学校春季総体(5/16) 京都府高校総体(5/18) 大津市民レガッタ(5/19) 全日本選手権(5/23-26) 滋賀県高校春季総体(5/25-26)
6	23(日)	全員集合日	全日本マスターズレガッタ(6/1-2) 関西学生新人レガッタ(6/1-2) 近畿高校ボート選手権 滋賀県体兼国体予選・県民体育大会(6/15) 関西選手権競漕大会中学の部(6/15) 京都ボート選手権兼国体予選(6/16) 中学夏季総体(6/29) 大阪府国体予選
7	28(日)	琵琶湖一斉清掃 びわこ市民レガッタ2019 事前練習会 全員集合日 滋賀銀行内レガッタ支援	お台場レガッタ 全日本社会人選手権(7/6-7) 滋賀県民体育大会カヌー競技(7/7) 国体近畿ブロック 全日本中学選手権(7/20-21)
8	25(日) 31(土)	びわこ市民レガッタ2019事前練習会 全員集合日 びわこ市民レガッタ2019練習会	関西選手権競漕大会 全日本高等学校選手権競漕大会(8/17-20) びわこペーロン大会 滋賀県ジュニア選手権(8/25-26)
9	1(日) 29(日)	びわこ市民レガッタ2019 全員集合日	びわこ市民レガッタ(9/1) 全日本大学選手権大会(9/5-8) オックスフォード盾レガッタ(9/7-8) 全国市町村交流レガッタ大津大会(9/15-16) びわ湖レガッタ(9/21-22)
10	27(日)	全員集合日	国体ボート競技会(10/4-7) かいつぶりレガッタ(10/5) ユニバーサルウォーキング(10/12) 関西カヌースプリント選手権(10/12-13) 京都レガッタ・一般の部(10/14) 全国ボートクラブ選手権 中学秋季総体(10/18) 全日本新人選手権(10/25-27) 京都レガッタ・高校の部(10/26) 滋賀県高体連秋季大会(10/26)
11	16(土)-17(日) 24(日)	Head of The Seta 2019 全員集合日	関西学生秋季選手権(11/初旬) ジャパンレディースレガッタ Head of The Tsubata/ Jinzu(開催未定) Head of The Seta(11/16-17) Head of The ARA
12	22(日)	クリスマスパーティー 全員集合日	滋賀・京都ボート協会安全講習会

初心者ボート体験教室：5～11月第1,3日曜日10:00～ アダルトチーム練習会：毎週土日 07:45～

上記日程は変更する場合があります。変更の場合は会報およびメールリングリストにて連絡します。

[7] 2019年度予算(案)

平成31年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動予算(案)

会費および寄付金・助成金等収入734万円に加えて、事業運営による15万円の利益を見込んでいる。一方、管理費および固定資産取得による現金支出は711万円となり、NPO事業での現金ベースの経常収支は、

38万円の黒字予算となる。会計基準ベースのNPO事業の経常収支では、艇購入や施設修繕等に伴う減価償却費増もあり、157万円の赤字予算となる。なお、健全な倶楽部運営・発展のためは、固定資産取得や特殊要因での支出を除いた経常的な現金収支で、350万円(倶楽部運営収支で100万円、事業運営収支で200万円、収益事業収支で50万円)の利益が必要としてきたが、昨年度から取り組んでいるコーチ事業を除く従来ベースの収支では、達成できる予算となっている。

倶楽部設立当初からのキャッチフレーズである「日曜スカラーからチャンピオンまで」を実現すべく、倶楽部としてプロコーチを抱え、ジュニア層を含めた選手の指導体制を確立し、倶楽部からチャンピオンを輩出するための取り組みを継続していく。加えて、一般の会員へもコーチングの機会を拡げていく。コーチ報酬の減額、当予算案では、倶楽部としてのコーチ事業による収入を拡大することで、倶楽部の実負担は、前年度とほぼ同額の183万円と見込んでいる。今後は、コーチ事業単体でも黒字収支とし、コーチ事業も含めた利益で350万円を達成するための取り組みを進めていく必要があると考えている。

平成31年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動予算(案)

平成31年1月1日から平成31年12月31日まで

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部
(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益の部		
1 会費、入会金収入		
会費	5,670,000	
入会金	600,000	6,270,000
2 受取寄付金		
賛助金(個人)	378,000	
賛助金(法人)	100,000	
一般寄付金	0	478,000
3 受取助成金		
受取助成金	600,000	600,000
4 事業収益		
A マシンローイング近畿大会	1,600,000	
B びわこ市民レガッタ	890,000	
C Head Of The Seta	1,300,000	
D 市民教室(体験教室)	300,000	
E 朝日レガッタコーチセミナー	150,000	
F レガッタ支援(滋賀銀行)	200,000	
G イベント支援(しじみ祭り,ユニバーサルウォーク)	95,000	
H ボート指導(プロコーチ)	870,000	
Z その他		5,405,000
5 その他収益		
受取利息	0	
雑収益	0	0
経常収益 計		12,753,000

II 経常費用の部			
1 事業費			
A マシンローイング近畿大会	1,200,000		
B びわこ市民レガッタ	600,000		
C Head Of The Seta	740,000		
D 市民教室(体験教室)	50,000		
E 朝日レガッタコーチセミナー	100,000		
F レガッタ支援(滋賀銀行)	0		
G イベント支援(しじみ祭り,ユニバーサルウォーク)	0		
H マシンローイングエアロビクス	0		
I ボート指導(プロコーチ)	2,700,000		
Z その他		5,390,000	
2 管理費			
給料手当	700,000		
レクレーション費	30,000		
会誌発行費	400,000		500号発行費含む
会議費	40,000		
交際費	20,000		
通信運搬費	30,000		
消耗品費	450,000		
保全費	1,000,000		
施設費	900,000		
水道光熱費	700,000		
減価償却費	3,000,000		
保険料	120,000		
諸会費	30,000		
租税公課	600,000		
支払手数料	30,000		
広告費	20,000		
強化費	400,000		
選手登録費	65,000		
雑費	400,000		
		8,935,000	
経常費用 計			14,325,000
当期経常増減額			△ 1,572,000
III 経常外収益の部			
経常外収益 計		0	
IV 経常外費用の部			
経常外費用 計		0	
III 経常外収益の部		0	0
IV 経常外費用の部		0	0
経理区分振替額			
収益事業会計から振替額		100,000	100,000
税引前当期正味財産増減額			△ 1,472,000
法人税、住民税及び事業税			
当期正味財産増加額			△ 1,472,000
前期繰越正味財産額			94,439,946
次期繰越正味財産額			92,967,946

固定資産及び投資等の予算(案)

科 目	金 額		
I 固定資産			
1 共有艇等(掘り出し物)	300,000		
2 施設関連(Annex外壁・屋根塗装)	1,000,000	1,300,000	
II 投資等	0	0	

クラブコーチング目標と収支予算(案)

クラブコーチ事業として、収入87万円、支出(コーチ報酬)270万円を計画しており、前年度比0.6万円の負担減の183万円の赤字予算となる。(大会での遠征帯同費等は、従来通り強化費として支出)

コーチング目標と収支予算内訳は、別紙2「瀬田漕艇倶楽部 コーチング目標」および別紙3「2018年度クラブコーチ事業予算案」を参照。

2019年度 収益事業計画(案)

1) ストロークコーチ類	10万
2) アパレル関係	12万
3) エルゴメータ	6万
4) FMレンタル	8万
5) その他	4万
	計40万

地域スポーツ文化の創造にチャレンジしています！

出合いを大切に、スポーツライフの充実に取り組み、自らの価値を高めます！